

令和4年度地域包括ケア推進のための伴走型保険者支援事業  
企画書作成要領

1. 作成方法

- ・原則 A4 サイズとする。A3 サイズ資料を添付する場合は A4 サイズに折り込むこと。
- ・極力専門用語は使わず、わかりやすい表記に努めること。
- ・様式は任意だが、下記「2. 企画書の構成」に従って作成すること。

2. 企画書の構成

1) 業務実施体制

- (1) 受託業務全体を管理する責任者及び当該業務に従事する予定者すべての人員  
※個人が特定される氏名の記載はしないこと。
- (2) 当該業務に従事する予定の者の資格及び地域包括ケア推進のための支援業務に従事した経験年数（通算）及び主な従事内容

2) 提案内容

以下に留意の上、別紙「仕様書」4（1）～（5）について明らかにすること。

(1) 全体スケジュール想定

県内の任意の1市町を支援対象として、概ね8月上旬から事業開始することを想定したものとすること。

(2) 事業実施方法

- 市町が適切に地域マネジメントを行うことを促すために必要な

①市町の状況を把握する方法

②助言の方法

③助言のポイントとなる視点

について具体的に記載すること。

- 上記の内容を実施する際に独自のツールがある場合は添付すること。添付ができない類の独自システム等の場合は内容を具体的に記載すること。
- 支援対象市町に対する支援は、Zoom 等の Web 会議サービスなどを活用して実施するものとする。その際は、受託者の責任で対象市町等も Web 会議サービス等を活用できるようにするものとする。

(3) 助言者候補

- 「仕様書」4（1）後段にある「助言者候補を提示」について、地域包括ケア推進にかかる有識者と共同で保険者支援の活動をした実績がある場合は、その者のプロフィール及び共同して活動した内容を記載すること。
- その他、地域包括ケアに関する調査研究・研修や、福祉・医療分野で自治体向けコンサルタント等の経験がある場合も同様に記載すること。

(4) その他

- 事業の効率的な実施、事業目的の達成及び成果の最大化のために委託金額内で上記以外に追加提案できることがあれば、具体的に記載すること。

3) 活動実績事例

当該事業の目的に類似した個別の保険者に対する支援の実績がある場合は、具体的内容（支援内容及び支援対象者の支援前後の変化等の結果概要）を最大2つ記載すること。